

# オンライン留学体験記

鳳悦帆

## はじめに

2022年3月、私は埼玉県奨学生として、一か月の間山西大学でオンライン留学をいたしました。中国での新型コロナウイルス感染症の感染状況がなかなか良くなり、惜しくも現地での留学は叶いませんでしたが、このような機会をくださった県の国際課の皆様や関係者の方々、埼玉県の皆様に心よりお礼申し上げます。一か月というとても短い間でしたが貴重な機会に恵まれ、自分の目標のひとつであった中国語学能力の向上が少しでも果たせたのではないかと考えております。改めて有難うございました。

さて、このレポートでは留学前の中国語勉強方法やオンライン留学の様子を紹介したいと思います。このレポートが、コロナ禍での留学の経験談として今後お役に立てれば幸いです。

## 留学前の中国語勉強について

私はこのプログラムに応募する以前はHSK2級の資格を持っていましたが、留学した時に授業についていけなくなるのではないかと、2021年の春にHSK4級を受け合格しました。その後、奨学生として半年の学習計画を県に提出することになったため、さらにレベルアップしようと考えて、最終目標としてHSK5級合格を目標に勉強し始めました。

私は大学で中国語を専門に勉強しているのですが、授業での課題や練習とは別に検定の勉強をするのはなかなか大変で、モチベーションを保つのが難しくとても悩みました。そんな時、YouTubeで中国のドラマが放送されているのを知り、リスニング対策として見始めました。中国のドラマは放送時には必ず中国語字幕がついているので、分からない単語はスクリーンショットしてすぐに調べることができ、リスニング勉強だけでなく単語や文法の勉強にもなりました。さらにそのドラマがとても面白かったため、微信读书というアプリを登録して原作小説を読みました。それが今思えば読解問題対策になったと思います。

このように、勉強した実感なく中国語に触れたことが功を奏して2021年の夏にHSK5級に合格しました。中でもリスニングは98点を取ることができ、読解では93点を取ることができました。あくまで検定のために鍛えたリスニング力と読解力ですが、留学した際の授業でもとても役に立ち、勉強して良かったと思いました。

## オンライン留学の様子について

山西大学の留学は2021年9月から2022年7月となっており、私はそのうち3月(一か月)の留学を選択しました。まず、2021年9月にDing talkというアプリを通してクラス分けテストを行いました。最初はなかなかDing talkの操作がうまくいかず、QRコードを読み込んでも山西大学のグループに参加できないというハプニングがありましたが、何とかテスト当日まで設定を完了した記憶があります。

テストは筆記試験と口頭試験があり、クラスは高級と中級、初級の三つがありました。早速クラスのチャットグループに参加したのですが、私は3月からの留学にもかかわらず、課題提出してない人へのリマインドにメンションされてしまいとても困惑しました。すぐに山西大学で留学生を担当している王剛老師に連絡をして他の先生方にも確認していただき、解決することが出来ました。今後留学される皆さんも、小さなことでも何かおかしいことがあったらすぐに現地の先生方に連絡して確認してみてください。

留学直前の、日本の大学が春休みの期間は自分のアルバイトが忙しくなっていました。そのため、全く中国語に触れることが出来ず留学初日の授業はとても不安でした。しかし、初日は山西大学側のトラブルで授業の参加者名簿が更新されていなかったのか、授業で指名されることはありませんでした。翌日の授業では先生に「これ読んでみて」と突然指名され、私が知らない文章を音読することになりとても驚いてしまいました。

山西大学での授業は精読、听说、阅读の三つがありました。

精読ではテキストを読み単語と文法を、听说ではテキストに関する動画の鑑賞や会話、グループワーク、阅读もテキストに関する動画鑑賞とそれに加えて読解問題演習を中心に学習しました。一コマ100分ですが、中間に必ず5分から10分ほど休憩時間があり、オンラインではありましたが集中が途切れず授業に参加できました。

基本的に、全ての授業で毎日課題が出ます。どの授業の課題でも進出単語練習や進出単語で短文を作るものが多く、加えて、テーマをもとに自分で文章を考えて録音する課題が出る授業もあり、全体の課題の量が多かったため苦労しました。

また、授業中はほぼすべての授業で指名されます。そのため、課題とは別に、次の日の学習内容を音読できるよう単語や発音を予習しました。一回だけ予習ができずに授業に参加した際に、ランダムで私が指名されてしまったことがありました。その時はうまく回答ができずとても恥ずかしかったので、何があっても予習だけは欠かさずしたほうが良いです。当たり前のことですが、留学中はどの授業も中国語だけ使用するので、授業を理解するという意味でも予習は絶対に必要だと思います。

私が参加したクラスにはベトナムやタイ、ラオスなど様々な国からの留学生が所属していました。皆授業中はとても積極的で圧倒されたのですが、私が見つからないところを質問した時には優しく丁寧に答えてくれました。私も彼らのようになりたいと思い、とても良い刺激になりました。

## 最後に

今回の山西大学への留学はオンラインではありましたが様々な経験や知見を得ることができ、中国語学習においての自分の強みと弱みを把握することが出来ました。今回学んだことを今後に活かしていきたいですし、実際に留学したいという気持ちがますます強くなりました。改めてこのような機会を頂き本当にありがとうございました！